

ICT 教材・機器 活用事例

学部	中学部	学年等	グループ	教科	全体体育
授業名(単元名)	新体カテスト(立ち幅跳び)				
活用した場面	一斉学習		個別学習		協働学習

1. 使用した ICT 教材・機器および使用した理由・方法

①1人1台 iPad

“カメラ” app を使用し、友だちの測定を撮影する。自分の測定の様子を “写真” app で確認する。

“Safari” を使用し、“YouTube” で “立ち幅跳びのポイント” を動画で確認する。

②電子黒板

検索方法や使い方を画面に映し、説明する。ポイントの振り返りを行う。

2. ICT 教材・機器を活用した活動場面

活動内容	指導上の留意点	準備物
○説明・準備	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台 iPad を渡す。 ・iPad の“カメラ” app の起動方法を確認する。 ・立ち幅跳びの簡単な説明を行う。 	①1人1台 iPad ②電子黒板 ・体操用マット ・メジャー
○測定【1回目】	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの iPad を使用して、その友だちの測定の様子を撮影するように促す。 	
○ポイント動画の視聴 ポイント確認 動画確認	<ul style="list-style-type: none"> ・“Safari” を開き、指定したポイント動画の視聴時間を設ける。 ・動画の内容を電子黒板で書き示し、生徒がポイントの部分で答える。 ・自分の1回目の様子を確認する時間を設け、2回目に意識するポイントを確認する。 	
○測定【2回目】	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの iPad を使用して、その友だちの測定の様子を撮影するように促す。 	
○動画確認 発表	<ul style="list-style-type: none"> ・記録が向上したかどうかを発表する。 ・1回目と2回目を見比べる。 ・よかった点を発表する。 	

3. 活用の成果

- ・友だちの測定の様子を撮影したり、交代してお願いしたりすることで生徒同士のコミュニケーションにつながった。
- ・測定のポイントについては、電子黒板で映し出すと注視が難しい生徒もいるため、1人1台使用することで画面に集中できるようにした。

- ・ポイント動画を見せるタイミング(1回目の測定後)を工夫することで、自分のフォームを意識し、記録向上につなげることができた。
- ・1回目と2回目の様子を見比べたことで自分の良さや次に頑張るところなど自発的に発言できる生徒が多かった。